

## 日本保育史研究 ～通史の検証～

子ども学科 高田 文子

子ども学科 松本 園子

教育・福祉研究センター客員研究員 矢治 夕起

### 1. 問題の所在と研究の目的

日本の保育史は「保育」が含有するその時々の意味を使い分けながらも、大きくは社会事業史と幼児教育史とに分けられて研究対象とされてきた。その分断自体を課題としながら、両者の有機的把握の必要性が指摘されてきた。政府主導の保育改革が着手された現在、これまでの保育の歴史を学術的に検証することは急務である。

関係諸学会において、保育の歴史研究の知見は蓄積されてきたが、研究の深化は、法制、思想、カリキュラム、内容、実践等の各領域において細分化された個別研究の方向を志向している。我々自身も、各自が保育史の個別課題の研究に従事してきたが、転換期の今日、これらを通史として俯瞰する必要性を痛感し、2013年度以来通史著作を目的に共同研究をすすめている。

### 2. 2014年度の研究活動

第一に、通史の執筆・出版にむけて、具体的準備を開始した。執筆メンバーとして、我々3名の他に、2名が加わり2015年度末出版をめざして、検討を重ねている。

第二に、京都・大阪の訪問調査を実施した。我々のこれまでの研究は、都市、しかも東京を中心とする関東地方の研究に偏している。通史のためには、偏りを克服する取り組みが必要と考え、2013年度は北海道旭川市における季節保育所の調査を実施した（本年報19号掲載の報告を参照されたい）。2014年度は、同じ都市でも、東京とは異なる背景をもつ京都、大阪の保育施設等を訪問し、聞き取り、資料収集を行った。

第三に、二葉幼稚園（後、二葉保育園）創設期の幼児と家庭についての調査を実施した（担当松本園子）。今年度は、園誌および卒業児名簿の解読、活字化に取り組んだ。この作業については、庄司拓也氏の協力をえた。2015年5月現在までの研究成果は下記のとおりである。

○松本園子 第68回日本保育学会口頭発表「明治期二葉幼稚園（1900－1916）における園児の状況と保育—卒業児名簿の分析を通して—」2015年5月9日

○庄司拓也・松本園子「翻刻資料・二葉幼稚園園誌—1906～1913」『東京社会福祉史研究』第9号、2015年5月

### 3. 京都・大阪調査

2014年9月3～4日、京都、大阪における保育史調査を実施した。以下、その概要を述べる（訪問順）。なお、この調査には通史執筆メンバーの森川敬子氏が加わった。

1) 東洋紡大阪本社史料室（大阪市北区堂島浜）

大阪紡績（1883年渋沢栄一の発起で設立）として創業された東洋紡の史料室に、工場託児所に関する資料がある、との情報をえて訪問した。当時の女工の手記、社内報の工場託児所に関する記事など閲覧し、写真撮影した。

2) 大阪市立愛珠幼稚園（大阪市中央区今橋）

愛珠幼稚園は1880（明治13）年創立の、大阪で最も歴史の長い幼稚園である。多くの史料を保存するとともに、その建物も創立時の木造園舎を維持しており、国の重要文化財に指定されている。現在耐震改修工事のため、保育は別の場所の仮園

舎で行われており、園舎の公開も行っていない。そのため、残念ながら、今回は工事中の園をそこから眺めるだけであった。しかし、建物の外観を観、その伝統と雰囲気を感じることができた。

### 3) 大阪市立図書館（大阪市西区北堀江）

大阪市立図書館は、その建物が戦争中戦時託児所に転用された。その時の風景写真が掲載されている『大阪市立図書館 50 年史』および、明治期の新聞大阪版により、保育に関する記事を閲覧した。

### 4) 愛染橋保育所（大阪市浪速区日本橋）

1887（明治 20）年、岡山孤児院を開設した石井十次は、1907 年大阪事務所を開設し、大阪に「愛染橋保育所」等を開設した。その流れをくむ石井記念愛染園愛染保育園を訪問し、園長からの聞き取りを実施し、一次資料や写真類をみせていただいた。

### 5) 柳池幼稚園跡地（京都市中京区、御池中学校敷地内）

1875（明治 8）年、この地に地域の市民の手で「幼稚園遊戯場」が設置された。それが柳池幼稚園であり、官立の東京女子師範学校附属幼稚園よりも前に、幼稚園が市民の力で開設された意味は大きい。

ここには、柳池幼稚園跡地を示す碑があり、京都市民の歴史を大切にする気概を感じる、

### 6) 京都市学校歴史博物館（京都市下京区御幸町）

柳池校史を中心に、資料を閲覧し、複写した。

### 7) 中京もえぎ幼稚園展示室（京都市中京区間之町）

京都市の幼稚園は柳池幼稚園をはじめとして長い歴史をもつものが多かったが、時代の変化に即して近年統廃合され、もえぎ幼稚園となっている。しかし、過去の歴史を保存する努力がなされており、幼稚園の二階に、展示室が設けられ、明治期からの各幼稚園の日誌や、写真など貴重な資料が保存・公開されている。ここでは、多くの貴重な史料を閲覧し、複写あるいは写真撮影した。また、園長からの聞き取りにより、ここには保育

における現代的課題に応える努力を重ねつつ、歴史と伝統を大切にする市民的文化が存在することを感じた。

二日間の駆け足の調査であったが、成果を通史に反映させるとともに、我々の今後の研究に、多くの課題を与えてくれた。

（文責 松本園子）